

製品名: チュベリンウサギモノクローナル抗体

カタログ番号: AMRe03242

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,IP
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 201 kDa; Observed MW: 201 kDa

抗原情報

遺伝子名	TSC2
別名	TSC2; Tuberous sclerosis 2 homolog protein; Tuberous sclerosis 2 protein; Tuberin; TSC4
遺伝子 ID	7249
SwissProt ID	P49815
免疫原	標的タンパク質に対応する合成ペプチド

背景

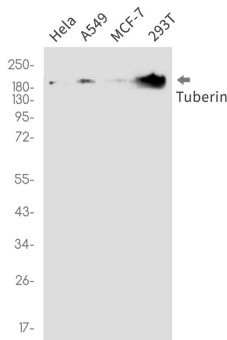
チュベリンは TSC2 腫瘍抑制遺伝子の産物であり、細胞増殖および腫瘍発達の重要な制御因子です。TSC2 遺伝子または関連遺伝子で

ある TSC1 (ハマルチン) 遺伝子の変異は、結節性硬化症複合体 (TSC) を引き起こします。TSC は常染色体優性遺伝疾患であり、多発性かつ広範囲にわたる非悪性腫瘍の発生を特徴とします。チュベリンは Akt/PKB によって Thr1462 が直接リン酸化されます。Thr1462 および Tyr1571 のリン酸化は、チュベリン-ハマルチン複合体およびチュベリンの活性を制御します。

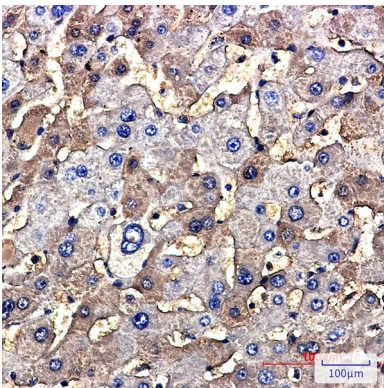
研究分野

細胞生物学

画像データ



Tuberin 抗体を使用した HeLa、A549、MCF-7、293T 溶解物中の Tuberin のウェスタンブロット分析。



チュベリン抗体を使用したパラフィン包埋ヒト肝癌の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。